

祈り



飛驒一宮水無神社

ひだいちのみやみなしんじや

所在地 岐阜県高山市一之宮町石原 5323

交通アクセス JR 東海高山本線 飛驒一ノ宮駅 (徒歩約8分)

(1) 起源と祭神



(2) 歌 碑

古くから、飛驒国一之宮として名高い神社です。始まりは神代(紀元前660年に即位した第1代の神武天皇がいたころ)より古くからあると伝えられていますが、詳しいことは分かっていません。



飛驒一宮水無神社は、明治の文豪島崎藤村の父・島崎正樹氏が、宮司を勤めていた神社としても有名です。明治7年11月13日水無神社宮司として赴任し、学問、詩歌の道にもすぐれ在任中高山中教院の教導職(中講義)として多くの若者を指導しました。

きのふけふ しぐれの雨と もみぢ葉と あらそひふれる 山もとの里

正樹氏は、島崎藤村の『夜明け前』に登場する青山半蔵のモデルで、境内には、その歌を刻んだ石碑があります。

※島崎藤村:日本の詩人、小説家。本名は島崎 春樹(しまざき はるき)。信州木曾の中山道馬籠(現在の岐阜県中津川市)生まれ。

(3) 歴 史



歴史にあらわれるのは平安初期、貞観九年(867年)神位を授けられた記事にはじまります。中世、鎌倉時代には神社の領地は付近18か村に達し神主12人と盛んでしたが、戦乱にかかわって荒廃をみしました。

(4) 笏木(しゃくぎ)の献上



この霊山である位山にはイチイ(一位:櫟)の原生林があり天然記念物とされています。位山は、平治元年(1159年)に朝廷に位山のイチイを笏の材料として献上した際、この木が一位の官位を賜ったことから木はイチイ、山は位山と呼ばれるようになったという説があります。

(5) 例祭神事



例祭は古くより陰暦8月15日に行われていましたが、明治以後は9月25日に行われ、最近では稲の収穫時が早くなったことや気象関係もあって、昭和36年式年大祭以後5月2日に改められました。

飛騨一之宮の祭り

ひだいちのみやみなしんじや

(1) 神事芸能の伝承



伝統文化は、歴史のなかで常に時代に合わせた文化として現在まで継承されてきました。それはそれぞれの地域の発展と成長とともにその形を創造的に変え、今日に継承されてきています。飛騨一之宮地域文化も同様に、飛騨という地域の発展と共に創造的に変化しながら今日に継承されてきた伝統文化です。

(2) 飛騨生きびな祭り



飛騨生きびな祭りは、高山市一之宮水無神社で養蚕や農業の繁栄と女性の幸福を祈願し、1952年に始まったお祭りです。飛騨の雛祭りは、1か月遅れの4月3日に行われます。この日、飛騨一円の未婚女性の中から公募で選ばれた9人が平安時代の装束に身を包み、一之宮町内を行列します。

(3) 闘鶏楽



闘鶏楽は、古く江戸時代より伝わる飛騨独自の神事で、この飛騨一之宮の水無神社から飛騨一円に広まったと言われています。鉦鼓(鐘)を打ち鳴らす音から、通称「カンカコカン」と言われています。服装は、勇壮な鶏の絵を描いた白染めの着流し、帯は角帯を用い、白足袋・タグリ・紙緒草履に、一文字笠をかぶります。例祭で奉納されます。

(4) 神代踊



飛騨一之宮水無神社に古くから伝わる神事芸能は、無形文化財として、県指定を受けています。その中でも中核となるのは宮踊といわれる神代踊です。神代踊と称する踊りは、綾踊・白菅踊・髭踊・よれよれ踊・池田踊・天戸開踊の6つからなっています。

(5) 獅子舞



飛騨の各神社で奉仕される獅子舞には、主に振獅子(男獅子/ユタンの中で一人が獅子頭を舞わし、もう一人が後ろから二本の棒でユタンを支え、二人で舞う)と伊勢獅子(女獅子/幣と鈴を持ち、獅子頭をかぶって、一人で拍子に合わせて踊る)の2種類があります。水無神社に伝わる獅子舞も、振獅子と伊勢獅子です。



動画: 飛騨一宮水無神社 (伝統文化: 飛騨一之宮)

6:04min



岐阜県高山市一之宮町にある飛騨一宮水無神社の全体の映像が見られます。行ったことがなくても飛騨一宮水無神社の様子が分かります。

URL http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html



動画:獅子舞（民俗文化財:「一つ文字」）

2:43min



岐阜県高山市の民俗文化財である獅子舞の演目の一つ、「一つ文字」が学べます。

URL http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html



動画:獅子舞（民俗文化財:「幕の舞」）



高山市の民俗文化財である獅子舞の演目の一つ「幕の舞」が学べます。

URL http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html



動画:獅子舞（民俗文化財:「鈴の舞」）

7:09min



岐阜県高山市の民俗文化財である獅子舞の演目の一つ「鈴の舞」が学べます。

URL http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html



動画:獅子舞（民俗文化財:「高山」）

2:54min



岐阜県高山市の民俗文化財である獅子舞の演目の一つ「高山」を学べます。

URL http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html

大幢寺

だいとうじ

高山市一之宮町 288 tel.0577-53-2033 JR 飛騨一之宮駅徒歩 5 分
宗派：曹洞宗 本尊：十一面観世音菩薩 円空仏：韋駄天



このお寺のご本尊の十一面観世音菩薩(じゅういちめんかんぜおんぼさつ)のことは、江戸時代の記録が残っています。そこには「奈良時代に行基が造った観音様(かんのんさま)であり、戦国時代の1580年に旅の行者がその観音様をこの大幢寺を開基した三木三沢大居士(みきみさわだいこじ)に渡された」とあります。観音様のお姿形は奈良時代のものとも、鎌倉時代とも言われています。

巨石

きよせき



ご神体山(しんたいやま)として人間が文字で歴史を記す前から人々の信仰を集めている「位山」は、両面宿儼(りょうめんすくな)や高天原伝説の舞台の山であり、また代々天皇家へ笏木(しやくぎ)を献上する山です。

このような歴史の息吹を感じることができる位山の登山道に足を踏み入ると、私達の五感を揺るがすたくさん的大岩が点在しています。いわゆる「位山巨石群」です。